

※各道場において、実際に作成して頂くガイドラインのイメージです。

## 新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン(案)

道場名 \_\_\_\_\_

館長名 \_\_\_\_\_

### 1. 基本チェックリスト

- 稽古にくる前の体温測定
- 道場に入る前の手指消毒の徹底
- 門下生に対するマスク着用の徹底  
なお、マスクの着用にあたっては、密閉性の高いマスクは避けるほか、水分をこまめに取ったり適宜休憩時間を設けるなど熱中症に注意する。
- 道場内の手指の消毒設備の設置

### 2. 基本的な感染拡大予防策

#### (1) 感染症防止のための入場者整理の方法

##### ① 発熱等の症状のある方の入場制限方法

- ・発熱や咳、咽頭痛、嗅覚や味覚の異常等の症状がある方については、原則として道場への立入を制限する。

##### ② 密にならないための対策

- ・道場内の密を避けるため、稽古の時間を分ける等必要な対策を講じる。

#### (2) 対人距離の確保の方法

##### ① 接触感染対策

- ・道場内では、原則として身体的距離を2メートル確保する。
- ・組手を行う場合は、マスクのほか、プロテクター(メンホー等)を着用する。なお、マスクの着用にあたっては、密閉性の高いマスクは避けるほか、水分をこまめに取ったり適宜休憩時間を設けるなど熱中症に注意する。
- ・組手の前後には、手洗いをこまめに行う。
- ・稽古で使用した道着等の着衣は、必ず持ち帰り洗濯する。
- ・個人用のタオル、水筒等を持参させて稽古を実施する。

##### ② 飛沫感染対策

- ・道場内では、原則として身体的距離を2メートル確保する。
- ・稽古時は、必ずマスクを着用する。なお、マスクの着用にあたっては、密閉性の高いマスクは避けるほか、水分をこまめに取ったり適宜休憩時間を設けるなど熱中症に注意する。
- ・道場内では、近距離での会話や大きな発声は行わない。

#### (3) 施設の換気対策

- ・常時、窓は二カ所以上空けておく。

#### (4) 施設・設備・物品等の消毒対策

- ・他人と共有する鍛錬用具は可能な限り少なくし、サンドバッグや巻藁、組手のプロテクター等は、使用の都度消毒を行う。
- ・道場の消毒は使用の都度行う。また、複数の人が触れる場所は適宜消毒を行い、テーブル、ドアノブなどの高頻度に接触する箇所は、特に注意して消毒を行う。

#### (5) その他基本的な感染拡大予防策

- ・トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう、表示する。
- ・唾液等が付着するゴミは、ビニール袋に入れて密閉した上でゴミ袋に入れる。

### 3. 独自の感染予防対策(上記の基本的予防策以外に必要な対策を記載願います。)

例えば食塩水を道場に準備してうがいを励行させるなど

※本ガイドラインは、今後の感染状況を踏まえて、逐次見直します。